

第8回 白山市PTA大会

開催日：令和2年12月19日(土)
会 場：鶴来総合文化会館クレイン



開会式

開会宣言の後、山本恵史会長が「コロナ禍であっても学校生活を送っているのは学校関係者の皆様のおかげです」と感謝の言葉を述べ、「厳しい状況だからこそ、PTAが家庭・学校・地域をつなぐ役割を担いたい」と挨拶をしました。

また、当時は、山田憲昭白山市長、村本一則市議会議長、松井毅教育長をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席をいただき、ご来賓を代表して山田市長、村本市議会議長よりご祝辞をいただきました。

記念講演

「これからの学校教育の姿と子育て」

講師 工藤 勇一 氏



学校は子どもたちが「社会の中でよりよく生きていけるようにする」ために存在します。そのためには、子どもたちに「自ら考え、自ら判断し、自ら行動する力」＝「自律する力」を身に付けさせが必要です。

今、日本の学校は自律を育むことは真逆のことをしています。手取り足取り勉強を丁寧に教え、壁に当たればすぐに手を差しのべる。けんかが起これば、担任が仲裁に入り、仲直りまで仲介する。そして育てられた子どもは、自ら考え、判断し、行動することができない大人になっていきます。そして、大人になってからも何か壁にぶつかると、「会社が悪い」、「国が悪い」と誰かのせいにしてしまう。

なぜ、そのような状況になるのかというと「手段が目的化している」から。子どもたちに必要な力を付けさせるための「手段」であるはずの学習指導要領や教科書が「目的」となり、教科書を消化してこなすことが最優先になっている。このような「手段の目的化」は学校の至るところで見られます。

宿題も校則も学習指導要領も手段であって目的ではありません。最上位の目標を忘れないことが重要です。学校の最上位目標は、子どもたちが「社会の中でよりよく生きていけるようにする」ことです。そのためには、子どもたちを自律させる教育、対話を重視し、合意決定する体験を繰り返し経験させることです。

家庭教育委員会 活動報告

開催日：令和2年10月11日(日)
会 場：鶴来総合文化会館クレイン

感染症対策を万全に講演会を開催！

家庭教育委員会では10月11日に人財教育家・メンタルスキルコーチ飯山暁朗氏をお招きし講演会を開催しました。



オープニング

大会冒頭、市内の各小中学校から寄せられた写真で作成されたスライドショーが上映されました。

今年は新型コロナの影響から、学校での子どもたちの様子を見る機会がほとんどありませんでしたが、先生方が撮影していただいた写真を通して例年どおりの笑顔いっぱいのいきいきとした子どもたちの様子を見ることができました。

研究発表

今年、市P連が各単位PTAに行ったアンケートの結果を元に、教育支援委員会が「コロナ禍におけるPTA活動」について研究発表を行いました。

コロナの蔓延によってPTA活動が大きく制限される中、どの単位PTAも工夫を重ねて活動を継続しており、コロナだから活動を中止するのではなく、「少しでも学校の力になりたい」、「子どもたちを笑顔にしたい」という気持ちで活動を継続されている状況が報告されました。

また、今年度、地域連携委員会が準備を進めていたウォーカラリー事業が中止となりましたが、次年度の開催に向けてPRが行われました。

宿題や定期テスト、校則の廃止など、千代田区立麹町中学校で様々な改革に取り組んでこられた工藤勇一氏を講師に招き、「これからの学校教育の姿と子育て」と題して講演していただきました。

「いまどきの子のやる気を引き出す関わり方」

講師 人財教育家・メンタルスキルコーチ 飯山 暁朗 氏

部活動からオリンピックメダリストまで幅広くご指導されており、その経験を例に具体的でわかりやすく、そしてとてもテンポのいい楽しいご講演でした。

脳科学ベースに、潜在意識が行動を起こす際に及ぼす影響の大きさや良い結果が出るように利用する方法を学びました。

「子どもの潜在意識は周りの大人が作っている」という言葉にハッとしたさせられました。



動画配信も大好評！

さらに今年度は講演会を後日、動画にて3日間限定で公開するという新たな試みを行い、ご覧いただいた方々から大変好評をいただきました。動画配信もかなり有効な方法だと改めて気づきました。今後のPTA活動に活かしていきたいと思いました。

とても元気をもらいました。

この1年振り返る

役員をお受けするにあたり二の足を踏んでいましたが、普段の生活にはない貴重な体験ができ、そしてたくさんの方とお知り合いになることができた今では思い切ってお受けしてよかったです。

委員長という大役も果たすことができ、ほっとしております。ありがとうございました。

あと、白山麓でふらりという宿を営んでおります。よろしくお願ひします(笑)

年度当初から、これまで経験したことのない状況となり、今年度はほとんど活動ができないのではないかと思っていましたが、役員・常任委員のみんなで「どうやったらできるか」を考え、実行に移すことができたのは良い経験になりました。

またひとつ成長することができたと思います。振り返ると大変な部分もありましたが、多くの方に支えていただきました。1年間本当にありがとうございました。

1年間本当にありがとうございました。

教育支援委員会 活動報告

開催日：令和2年12月19日(土)
白山市PTA大会にて実践発表

運動会応援メッセージの掲示

運動会の参観はできませんでしたが、保護者の方々からの想いはきっと子どもたちに届いたことでしょう。



児童玄関の装飾・消毒作業・東明祭り

他校にはない消毒作業、子どもたちも先生たちも安心できたことでしょう。また東明祭りも開催!みんなの協力のたまものですね。



副会長 上出 真哉
(松任小学校PTA)
今年初めて市P連の役員をさせていただきました

が、コロナの影響下で様々な行事が制限を受け、何をするにも難しがけで何とかやり遂げることができました。今年度はコロナ禍で殆どの行事が見送られ少し残念な1年でした。いつまでこの状況が続くかわからりませんが、このような状況だからこそPTA活動は必要だと思います。マスク着用があたりまえになった日常、子どもたちの笑顔を取り戻すため、手助けができるほどと思い、この1年間頑張りました。今年は私にとって大変有意義な1年になったと思います。

副会長 村本 貴信
(蕪城小学校PTA)
初めて副会長を務めさせていただきました、当初不安はありませんが、周囲の皆さんのサポートのおかげで何とかやり遂げることができました。

副会長 中山 智美
(光野中学校PTA)
何もわからずにつまずいた初めての市P連の役員。何をどうすれば良いのかわからないまま、今年はコロナ禍の中、学校行事等大半が中止になりました。その中でも子どもたちは変わらずに学校に行き、学校での出来事を家で話してくれたでしょうか?

子どもたちの安全安心の為、何かしようと考案実行するPTAの皆さんに、いつも凄いなと思いました。私も少しでも手助けができるほどと思い、この1年間頑張りました。今年は私にとって大変有意義な1年になったと思います。

あさひ親子ウォークラリーを企画

企画した通りの活動はできませんでしたが、ゲームコーナーでの子どもたちの笑い声が聞こえてきそうですね。



インターネット・ゲームアンケート

自宅で過ごす時間が長くなった今年、今の時代だからこそ心配なことも。子どもたちの姿が分かれれば、できる対策も打てますね。



副会長 中山 智美
(光野中学校PTA)
何もわからずにつまずいた初めての市P連の役員。何をどうすれば良いのかわからないまま、今年はコロナ禍の中、学校行事等大半が中止になりました。その中でも子どもたちは変わらずに学校に行き、学校での出来事を家で話してくれたでしょうか?

副会長 高木 啓介
(白嶺小中学校育友会)
子どもたちが社会の中でよりよく生きていけるようにするためには、子どもたちを自律させる教育、対話を重視し、合意決定する体験を繰り返し経験させることです。

副会長 錦織 健男
(広陽小学校PTA)
あと、白山麓でふらりという宿を営んでおります。よろしくお願ひします(笑)